

第 65 回大津市民駅伝競走大会規程及び注意事項 変更

受付について

1. チーム代表者は、午前8時～8時40分までに受付を済ませる。健康チェックシートの提出。ゼッケン、プログラムを手交する。(タスキは、スタート地点で1回目の召集時に手交。)
2. 本年度はコロナ流行の為、登録選手以外も選手変更を認める。オーダー用紙は選手変更が有る無しに関わらず当日に受付に提出すること。
3. 受付終了後、8時45分より開会式を行う。5分前には本部前に整列。(全員)

選手の配置・召集について

1. 選手の中継所への移動は各チームで行う。(開会式終了後から競技開始までの間に行う。)
2. 選手の招集は次のとおりとする。
 - ①招集時間 1区 一般女子・中学校男女の部 1回目 9時40分 ・ 2回目 9時50分
// その他の部 1回目 9時55分 ・ 2回目 10時05分
各関門 各中継所の選手招集点呼時刻に行う。
 - ②招集は、本人が受けること。ゼッケンを付けたユニフォームを着用または持参する。
 - ③「タスキ」は、1回目の召集時に手交、選手は必ず受け取りに来ること。
付け忘れ、付け間違えなどの場合、記録が出ないので注意すること。

競技について

1. 本大会は、2022年度日本陸上競技連盟駅伝基準及び大会規程に基づき実施する。
2. 選手は道路の左側(左端)走行厳守とする。又、競技中は競技役員、警察官及び自主警備員の指示に必ず従うこと。
3. 伴走は一切認めない。(伴走があった場合、そのチームは失格となる場合がある。)
4. 衣類の運搬は行わない。各選手は次の競技者の衣類を着用し、一時、暖をとる。
5. 各チームの選手輸送及び応援等一切の自動車、バイクの運行並びにコースにおける駐停車は競技実施中禁止する。(競技実施中は自動車等の運行はできない。)
また、選手及び衣類の回収は競技終了後に行うこと。
6. 競技中、公園駐車場への車の出入りを禁止(選手通過時)する。
7. 選手が途中で競技を続行することができない状態になったとき、又は競技役員から競技の中止を指示された場合は、当該チームのその区間の競技を無効とする。但し、そのチームは審判長の指示に従い、次の区間の走者から再び競技を続行することができる。この場合、そのチーム全体の記録、成績は認めないが、各区間の記録は認める。
8. 大会の円滑な運営のため、最終中継所で繰り上げ出走を行う。
9. 「非接触自動計測システム」について
競技は主催者が用意するタスキで行うこと。また、走行中タスキは必ず肩にかけること。
タスキには計測用タグ(発信機)が取り付けられている。ゴールするまで絶対に外さないこと。外してゴールした場合、記録は出ない。
タスキはゴール後すぐに回収する。回収係員に必ず渡すこと。
計測用タグ(発信機)には、チーム固有のID番号が記録されているため、同一部門に2チーム以上出場する場合、タスキの掛け間違い等に十分注意すること。

その他

1. 監督は選手の健康管理に十分留意すること。
 - ①選手に対し、事前に健康診断を受けるよう指示する。
 - ②コンディションに十分留意する。
 - ・大会直前の過激なトレーニングはさけること。
 - ・競技開始前のウォーミングアップは十分に行うこと。
 - ③コロナ感染拡大防止のため、事前にチームで「健康チェックシート」に記入し受付時に監督者が提出すること。
2. 積雪等の天候条件による大会実施の態度決定は、午前 6 時 30 分に行う。
(一社)大津市スポーツ協会HPに掲載。
問い合わせ先 スポ協事務局 090-2043-2914 陸協 090-3038-3930(川幡)
※問い合わせは、監督が行うこと。
3. 表彰式は、記録集計が出来次第行う。全員参加のこと。
4. 参加者の荷物は各自または各チームの責任において保管すること。(盗難等に注意。)
5. ゼッケンおよび安全ピンはチーム分をまとめ必ず本部へ返却のこと。

- コース上には自主警備員を配置しているが、道路は交通規制を行っていないため、選手は走行車両に十分注意し、安全確保に努めること。
- 本大会において発生した傷害及びその後の責任については、主催者側の保険契約によるもののみとする。

【中継所の使用について】

- ※各中継所は禁煙とする。(会場及びコース周辺も禁煙とする。)
- ※タバコの吸殻の放置等、マナーが守られない場合、使用が認められなくなる。
- ※缶飲料、ペットボトル、その他のゴミは全て持ち帰ること。
- ※トイレはきれいに使用すること。(ゼオンポリミクス、ワークス松下、公園グラウンドトイレ)
監督者は選手及び関係者への指導・周知を徹底すること。